



さくら小 とくの日だより

令和6年9月 日 No.5



3年生の授業の様子について紹介します。

「あと、ひと言」 善悪の判断、自律、自由と責任

「ぼく」は友達から「冒険ごっこをしようよ」と誘われたが断った。「君とはもう遊ばないから。」と言われて家に帰ると、お母さんから友達が大けがしたことを聞いた。「えらかったけど、でも、少し足りなかったね。」と言われた「ぼく」だったが、お母さんが言いたかったことがだいたい分かったような気がしている。

・・・というお話です。

【授業の目的】

迷いながらも勇気を出して声をかけた「ぼく」の気持ちについて話し合いました。「ぼく」の気持ちを通して、よりよい人間関係を構築するためには、お互いが相手に対して思いやりの心をもって接することの大切さについて考えました。「これから親切にしていきたいことはどんなことですか。」という教師の問いに対して、子供たちからは、「勇気を出して自分から親切な行いをしたい。」「家族や友達以外の人にも親切にしていきたい。」「相手に寄り添う心をもって親切にしたい。」などの意見が出ました。

【授業者から】

4年生は、学校生活の中で係活動に進んで取り組み、行動したり、友達にいけないことはいけないと注意したりと中学年のリーダーとして意識が高まってきています。しかし、友達を注意するとき相手の状況を考えずに自分の都合だけで注意したり、声を荒げたりして衝突する場面も少なくないです。授業では、困っている人がいるときに進んで声をかけ、親切な行為ができるか、またどのような行いが親切と言えるのかについて考え、話し合いました。その中で、相手の立場を十分に理解し、困っている人を助けようとする思いやりや親切について深く考える良い機会となったと思います。

ちよこっと紹介 4年生 「いろいろな親切・思いやり」

みんなで「善悪の判断」について真剣に考えました。



緊張しながら取り組んだ自転車免許講習。慣れない自転車でよろけている友達に「がんばれ」と優しく声をかけていました。

【児童の振り返り】

ぜひ、ご家庭でも、「自分の正しいと思ったことを、自信をもってすること」について、話し合ってみてください。